



# 学校だより

令和2年 6月30日

7月号

めざす子ども像

ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校

## 一つひとつ確かめて

校長 巴 幹晴

アジサイの水色やピンク色の淡い彩りも暑さとともに終わりを迎え、木々の葉や野草の緑が一層濃い色に変わっていく季節となりました。雨上がりの日差しは、湿気を含んだ熱気を生み、わたしたちにとって蒸し暑く不快な状況を生み出しますが、植物にとっては生長のためのエネルギーとなり、様々な作物を大きく育ててくれます。八百屋さんの店先やスーパーマーケットの野菜コーナーに並ぶみずみずしい夏野菜たちもこのエネルギーをたくさん吸って育ってきたことでしょう。学校の花壇でも、学年で育てている野菜が立派な姿を見せてくれています。



学校が再開してから1か月が経ちます。この間、段階的に登校人数や時間を増やしながら、手洗いの習慣化や人との間隔のとり方などの意識化に取り組んできました。衛生面での意識を高めつつ、7月より給食を再開させて、通常的时间割(時程)での学校生活を送ります。給食室では、調理を担当する葉隠勇進株式会社の調理員さんたちが6月半ばから清掃や調理器具、設備の点検整備を入念に行い、先週、試し調理もおこない準備が整いました。教職員も、試し調理に合わせて、教室での配膳準備、当番とそれ以外の児童の動きなどを全員で実際に試行し、確認しました。1年生には初めての、その他の学年にも4か月ぶりの給食が始まります。楽しみですですが、静かに食べます。

これまで学校では、臨時休業中の緊急受け入れや校庭開放、段階的な再開の取組と並行して、今年度の学習計画を見直し、今年度中に学ぶべき内容を次年度に持ち越すことがないように計画の再編に取り組んできました。5月末には教育委員会の指導主事を招いて研修会を開き、再編に対する考え方を学びました。その後、午前授業の午後を利用して、教育委員会や市内の教員でつくる各教科の研究会の資料を参考にしながら、一定の見通しを立て、各学年の学習計画を再編したところです。

教科学習以外の学校生活についても原点に立ち返り、その必要性に気づく良い機会になっている場面も多くあります。委員会活動は、みんなが学校生活をより快適に送れるようにするものですが、現在、発足を保留しています。すると、6年生児童の中から「遊具の周りで駆け回る子がいて危ないから、ポスターで注意を呼びかけよう」という動きが出てきたのです。

ゆっくりと、一つひとつ確かめ、組み立てながら教育活動を進める日々ですが、その作業がとても大切なことであると感じています。

今月も本校教育活動に、地域・ご家庭でのご協力をお願いいたします。

城郷小学校ホームページアドレス：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirosato/>